



サービス導入事例

INDEX

1

導入事例①～③

2

なぜSaaSなのか？

3

COMIT HRが提携している人事・給与SaaS

4

COMIT HRの実績

5

無料オンライン相談

6

会社概要

導入事例 ①

メガネチェーン会社様

従業員数：1,800名

背景



人事制度や人事システムがバラバラ

- M&Aや分社化に伴う事業拡大、各グループ内での個別管理



勤怠はExcelベース、従業員の自己申請制

- 旧システム以前の問題で適切な勤怠管理が出来ていない
- 時間外時間の過少申告が課題となっていた



一元管理する必要がある

- 有給休暇の管理方法もない
- **コンプライアンスの観点**からも、**信頼性の高い勤怠管理システム**を導入したい



課題



どのシステムがいいか、どう進めたらよいのか分からない

- 自社に最適なシステムが何か分からない
- 導入方法はどのようにしたらよいのか分からない
- 委託してもどこまで対応してもらえるのか分からない



勤怠を管理するしくみやノウハウがない

- グループで300店舗以上を抱えている
- 従業員は店舗間で応援し合って就業している
- どの店舗でいつ稼働するのか、シフト管理が出来ていない
- 勤怠はExcel、しかも自己申告制



コンプライアンスの観点からも問題

- 上司が勤怠を把握出来ていない
- 個人での申告ではなく、上司の厳正な管理ができる仕組みの構築が必要

フルアウトソーシングの導入事例



人事・給与・勤怠システム一元化

- SaaSで賄えない勤怠管理・給与業務はBPOで対応



業務フローを作成・見える化

- COMIT HRの経験豊富な人事業務のプロフェッショナルが、グループ会社ごとの人事業務運用を整理



有給休暇残日数管理、シフト管理システムを導入

- COMIT HRを活用し、人事SaaSの勤怠管理にある標準機能で煩雑な勤怠管理業務をシステムで管理



効果



POINT ① スピーディーかつ最小コストでSaaSへ移行！

- 人事担当者を増員することなく、手間の掛かる給与システム業務から解放された

POINT ② 人事・給与・勤怠システムを統一化！

- グループでバラバラだった人事制度の見える化を実現

POINT ③ 厳正な勤怠管理の自動化・運用状況の把握を実現！

- 勤怠管理をアウトソースすることで、上司は勤務状況、シフト状況を自動的にPC、スマートフォンから見えるようになり、把握し適切な管理ができるようになった

想定以上の効果

SaaS活用が社内の意識改革にもつながり
社内のコンプライアンス意識が向上
結果として従業員エンゲージメントも向上！

導入事例 ②

自動車関連設備メーカー様

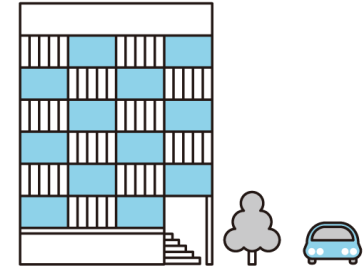
従業員数：1,100名

背景



保守できる担当者が一人もいない

- 勤怠システムを保守管理していた担当者が異動
- 独自にカスタマイズされた勤怠システムを保守できる担当者がいない



保守期間終了後も旧システムの利用を継続していた

- 早急に新しい勤怠システムを導入する必要がある



勤怠の運用ルールが複雑

- 就業規則で時間外労働をカウントする前に、定時後は30分の休憩を取ることを定めており、残業時間は30分を控除してカウントすることになっている
- 食券（弁当代）を給与から控除する為、勤怠システムでカウントして勤怠締め時に集計等



業務が属人化

- 毎月給与計算期間は、一部の担当者に負荷が集中していた
- 担当者が1名異動することになり、負担は限界に達していた

課題

- ☒ 給与計算業務の効率化を図りたい
- ☒ 勤怠管理業務がブラックボックス化している
- ☒ 勤怠システムを保守できる担当者がいない
- ☒ 属人化された運用を引継ぐことが困難



フルアウトソーシングの導入事例



勤怠管理、給与計算に携わる様々な業務をフルサポート



従業員向け説明会～マニュアル作成までCOMIT HRが対応



属人化していた業務領域を見える化

- 勤怠システムのリプレイスと業務移管に伴う業務分析



ジョブカン勤怠の設定で課題解決

- 食券カウントはジョブカン勤怠だけでは完全に解決できなかった



勤怠管理のフォロー体制を構築

- COMIT HRのアラートシステムにより、勤怠漏れ・エラー対象者に対してアラートメールを3回に分けて配信。
- 勤怠漏れ・エラーが解消されない場合は対象者の上長に個別に連絡する。

効果

POINT ① 勤怠システムの保守業務が不要

- カスタマイズを重ねた勤怠システムからSaaSに移行
- システム自動化により保守業務の効率化を実現

POINT ② コンプライアンスにおいて意識改革

- 勤怠管理を正しく認識できる仕組みの構築
- 管理者、社員の意識も変わり、組織業務の円滑化

POINT ③ キャリアアップの為にローテーションを実行できた

- 保守管理、勤怠の締め作業から人事担当者が解放された

想定以上の
効果**社員にとって利便性が向上し、喜びの声**

SaaSに勤怠システムをリプレイスしたことにより、社員個人のスマートフォンからも休暇申請等ができるようになった。
現場でパソコンを持たない従業員も多く、班長の手間が減った。

導入事例 ③

外資系金属製品メーカー様

従業員数：400名

背景



過剰機能のオンプレミス型の人事給与システム

- 自社では使わない機能まで盛り込まれた人事給与システムを利用



DXを取り入れたいという社内の期待

- 人事EXPOなどの展示会でSaaSの存在を認知していた



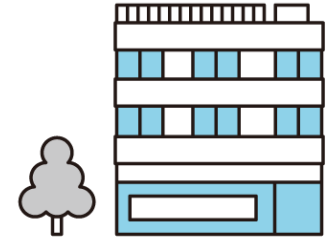
コンプライアンスにも関わる勤怠管理が残存

- 給与業務を外部委託していたが、工数の削減があまりできていない



管理の観点より、アナログ運用からの脱却の必要性

- 人事業務は紙が中心となっており、管理・保管が煩雑化している



課題



必要な機能だけを選ぶにはどうしたらいいか？



人事給与システムの調整に追加コストと工数が課題

- 法改正や人事制度の見直しがあった場合



丸ごと任せて安心できるところに委託したい

- 外部委託するなら、コンプライアンスの観点からも、勤怠管理も信頼できること
- 安心して任せることができるアウトソーサーを探していた。



紙は紛失しやすく、管理も申請する従業員にとっても面倒

フルアウトソーシングの導入事例

**必要な機能だけ選んで使える従量制のSaaSにする**

- 人事管理や勤怠管理など必要な機能だけ選ぶ

**多種多様な雇用形態の勤怠管理・給与計算も対応**

- COMIT HRは数多くの経験豊富な人事業務のプロフェッショナルメンバーで形成されており、ノウハウが共通化されたことで、多種多様な雇用形態の勤怠管理・給与計算も対応に

**従業員個人のスマートフォンから各種申請**

- SaaS機能を活用し、各種申請から年末調整まで従業員個人のスマートフォンから対応可能に



効果

- POINT ① システム運用・維持コストの最適化**
- 従量課金型SaaSを活用
- POINT ② 人事給与システムの保守要員が不要になった**
- 法改正や人事制度が変わっても、追加コストやシステムベンダーとの調整・工数がかからなくなった
- POINT ③ 個別対応に追われることがなくなった**
- 多種多様な雇用形態により、煩雑化して手間がかかっていた勤怠管理、給与計算業務等から手を離すことができた
- POINT ④ アナログ運用から脱却**
- 会社として個人情報保護、管理が容易になった
 - 従業員にとってユーザーフレンドリーなSaaSへの移行を実現



想定以上の効果

働き方改革につながった！

SaaSの導入は管理者、従業員の意識が変わるきっかけになる



SaaSの導入により、あらゆる人事部の業務の様々な課題が解決！

- 人事業務を効率化する為のシステム導入予算は社内で議論にならない
- 情報システムに詳しい人間は貴重であるため、人事部への配置は常に後回し
- 後回しにされているからやりたいことができない、放置されがち
- 紙業務や非効率的な業務が山積みとなり、コア業務に集中できない
- 人事部としては、あらゆる課題を解決したいが、膨大な業務に追われ時間が割けない

**COMIT HRでは、開発は一切不要。
SaaSの好きなところだけ組み合わせることが可能！
SaaSできないところは専門家、人間、自動化（RPA）で全てカバーします**

COMIT HRが提携している人事・給与SaaS

弊社が提携する人事・給与SaaSシステムを通常より割安な単価でご提供！

👤 従業員数1,000人以上向け



大手企業特有の複雑な人事・給与業務に
特化したSaaS

👤 従業員数1,000人未満向け



創業期から成熟期まであらゆるステージ・規模
に対応するバックオフィス支援クラウドサービス

👤 従業員規模は問わず対応可能
(勤怠管理・労務管理としての利用の場合)



勤怠管理クラウド市場シェアNo.1



事業会社のバックオフィスをラクに強くする
クラウドサービス



労務管理クラウド シェアNo.1
アサカルト型人事労務クラウドソフト

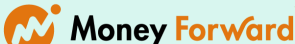


企業の人事データを一元管理するための
HRプラットフォーム



大手企業の複雑な就業管理にも対応できる
勤怠中核型クラウドサービス

■ 最近の傾向としてグループ一括受託のケースが増えております。

ご利用企業様	社員数	システム導入	給与計算	勤怠管理	運用システム	
特別民間法人様	10,000名	○				人事・給与・勤怠一括導入
外資系医薬関連会社様	6,400名			○		グループ会社一括受託（2社）
製薬会社様	2,500名	○	○			グループ会社一括受託（3社）
眼鏡チェーン会社様	1,800名	○	○	○		グループ会社一括受託（9社）
精密機器メーカー様	1,500名	○	○	○		AI顔認証出退勤管理システム導入（顔認証端末25台）
コンサルティング会社様	1,300名		○			
生産機械メーカー様	1,100名	○	○	○		グループ会社一括受託（7社）
エネルギー事業会社様	1,100名	○	○			グループ会社一括受託（8社）
外資系自動車部品メーカー様	1,000名	○	○	○		SAPからのリプレイス
自転車チェーン会社様	1,000名	○	○			
リゾート事業会社様	900名	○	○	○		グループ会社一括受託（8社）
ガス機器メーカー様	700名	○	○			
IT企業様	500名	○	○	○		

無料オンライン相談



まずは気軽に手軽に オンラインでご相談ください

数々の企業様への導入を手掛けてきた
人事業務コンサルタントがご対応いたします！



相談内容の例

- 給与・社会保険等の定型業務に追われていて、**人事のコア業務に集中できない**
- 現在アウトソーシングを委託しているものの、自社に業務が残っており**工数削減につながっていない**。しかも**品質が低い**
- 年末調整や人事申請系はほぼ紙で対応しており手間がかかっている。**DXを推進し脱却したい**
- 人事担当者の退職/休職により、業務が対応できなくなった。**アウトソーシングで解決したい**
- 経営層や財務部門から**コストダウンを求められている**
- グループ会社が多い。**規定やシステムがバラバラ**・・・どう統合すべきか困っている

Step01

日時のご予約



Webミーティング可能な日時がカレンダー表示されます。カレンダーからご希望の日時を選択し、フォーム入力し、予約の確定まで進んでください。

Step02

ミーティング
URLのご案内



ミーティングURLをお送りします。

Step03

Webミーティングを
スタート！



当日、ご指定のメールアドレスにお送りしたミーティングURLにアクセスいただくと、Webミーティングが始まります。



<https://www.comit-hr.jp/consultation/>

- 1 業界トップレベルのコストパフォーマンス
- 2 お客様独自の給与規定や就業規則に合わせた人事業務アウトソーシング
- 3 人事・給与・勤怠システムの運用維持もフルサポート

社 名 株式会社InfoDeliver（インフォデリバ）

東京本社 東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー6階
TEL：03-5405-7996

札幌本社 北海道札幌市中央区南一条西4丁目5-1
大手町ビル9階
TEL：050-3310-5634

城東オフィス 東京都江東区亀戸2-25-14
京阪亀戸ビル4F

設 立 1999年4月15日

資 本 金 4 億 9,150 万円

代 表 者 代表取締役社長 山口 英一郎

主要株主

- 三菱UFJキャピタル株式会社
- 株式会社ニッセンホールディングス
- 株式会社野村総合研究所
- 太陽生命保険株式会社

従業員数 575人 （2026年1月1日現在）
(連結)

